

進路通信

～ 汝の理想を星につなげ ～



青森県立木造高等学校進路指導部

令和5年9月28日発行 第6号

木高キャリア向上プログラム～大学魅力発見プロジェクト～

県外大学見学会 8月28日(月)

8月28日(月)、希望者を対象に県外大学見学会を実施しました。こちらは、青森県教育委員会主催の令和5年度進学力を高める高校支援事業(進学力パワーアッププログラム)の一環として行われたものです。今年は岩手大学・岩手県立大学を訪問させていただきました。

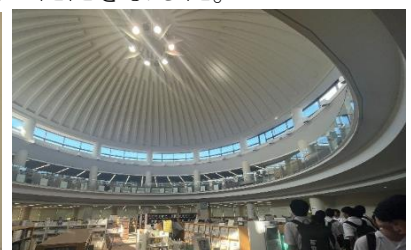
＜岩手大学＞岩手大学では入試課の担当の方から、大学の概要や歴史など説明を受けました。入試課の説明後、興味のある学部に分かれて行動しました。キャンパスを見学したり、講義を担当されている教員から学部の説明を聞きました。人文社会科学部ではドイツ語専攻の准教授から学部の特徴や研究することができる内容等についての説明を受けました。学部ごとの説明が終わると、中央食堂に集まり、食堂を利用して昼食をとりました。昼食後はキャンパスの敷地内を入試課の方から説明を受けながら、農学部の植物園や岩手師範学校時代の校舎を見学しました。天気もよく、説明等してくださった方々は本当に親切・丁寧な対応をしてくださいました。



生徒の感想

- ・大学生が普段どんな授業を受けどんな風に生活しているのかを知れた。学食に行ったら思いのほか美味しかった。
- ・大学生達がやっている研究が面白そうと思った。学科に入るためにやっておいた方がいい教科について知ることができたので、これからの勉強に生かし大学受験をする上での参考にしたい。
- ・規模の違いや構内に植物園があったりしてすごく驚いた。付きっきりでガイドをしていただいたので、施設についてよくわかったし学ぶことが多かった。学部の説明では、説明してくださった方の研究内容に興味を持った。
- ・今まで何となくしか理解していなかった大学の授業選択について説明していただき、理解を深めることが出来た。また、キャンパスが基本的にひとつであるという、他の大学との違いに魅力を感じた。
- ・ただ学ぶだけでなく、自分で研究し、さらに深く学んでいくことが、大学の面白さだと知った。岩手大学ではたくさんの言語が学べたり、人文社会科の講義では、時代の背景から文化を読み取るといったことをしてとても面白かった。

＜岩手県立大学＞ 岩手県立大学では各学部学科についての説明を入試課の担当の方から受け、その後、CA(キャンパスアテンダント)の大学生の方から、大学入試の対策方法や学部での研究内容等についての説明を受けました。全体説明が終わった後、学部に分かれてキャンパス内をCAの学生さんたちから案内してもらいました。岩手県立大学のキャンパスは学部ごとにキャンパスが分かれてはいるものの、すべて通路でつながっていて、雨の日でもキャンパス内を自由に移動できます。大きな講堂のあった本部棟から出発し、各学部のキャンパス内や食堂、図書館、体育館やプール、野球場、テニスコート等、東京ドーム約7.5個分の広い敷地内を案内していただきました。



生徒の感想

- ・学部学科、学べる内容など岩手大学とはまた違った魅力があり、少人数の学生に対し1人の先生がつくという所に魅力を感じた。また、大自然に囲まれており、環境も良い場所だなと思った。
- ・プールやジム、体育館や図書館、食堂がとても広く、充実した設備が整っていて素晴らしかった。また、学生の勉強スペースも沢山あり勉強の機会がたくさん取れると思った。キャンパスアテンダントの人がいて学校生活を楽しめると思った。
- ・今の学生の体験談を聞くことができた。入試対策や大学を選んだ理由など参考になるような話を沢山聞いた。
- ・キャンパスツアーでは、夏休みだったので講義を受けている人は見る事が出来なかったけど、サークルの活動を見て大学のサークルのイメージも理解出来たので来て良かった。
- ・小論文は大学に入ってレポートを書くための練習みたいなものでもある事が分かった。しっかりとした小論文を書くためには自分の意見をずっと述べるのは良くないので、ニュースや新聞、本などを読んで知識をつけたり過去問を解いて先生に添削してもらうなどのことが必要だと思った。

＜全体を通しての感想＞

- ・入試の方法を決め、それにあった勉強法をしっかりと理解し、効率よく、質も量もしっかりと考え身につけたい。
- ・まだ行く大学も学部学科も、将来何になるかなど決まっていなかったが、岩手大学を目指して今から勉強習慣をつけたい。また、日頃から本や新聞をよく読んで、知識をつけたいと思います。
- ・推薦入試などで、自分の持っている資格などが強みになったりすることもあると知ったので、高校生活中に取れそうなものはチャレンジしてみたい。

総合型選抜入試、始まります



いよいよ総合型選抜入試が始まります。総合型選抜は「大学が求めている学生を選抜する」選抜方法です。そのため、総合型選抜では意欲や熱意を大学に強くアピールする必要があります。「この大学でこんなことを学びたい」という意欲や入学後の目標が重視されますが、知識や思考力・表現力等、多面的に評価する選抜方法が増えてきています。また、書類選考以外に用いられる面接や小論文などに関しても、付け焼き刃の対策が効きません。1・2年次生の皆さんは自分の志望大学の選抜方法をチェックして、今から取り組まなければならないことについて考えたり、先生や保護者の方等と相談したりしてみてください。

大学名	学部	学科名	出願期間	試験日	試験内容
青森公立大学	経営経済学部	経営学科 経済学科 地域みらい学科	9月11日（月） ～9月21日（木）	10月14日（土）	書類審査・小論文
公立はこだて未来大学	システム情報科学部	情報アーキテクチャ学科 複雑系知能学科	9月19日（火） ～9月28日（木）	11月4日（土） 11月5日（日）	書類審査・適性検査・面接
弘前大学	人文社会科学部	文化創生課程	9月19日（火） ～9月28日（木）	10月28日（土）	書類審査・小論文・面接
		社会経営課程		10月29日（日）	
	理工学部	数物科学科 物質創成科学科 地球環境防災科		10月28日（土）	書類審査・講義およびレポート作成・面接
		電子情報工学科			
		機械科学科			
		自然エネルギー科			
	農学生命科学部	食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科		10月28日（土） 10月29日（日）	書類審査・小論文・面接
	教育学部	学校教育－小学校			書類審査・集団討論・面接・共通テスト
		養護教諭			
	医学部保健学科	看護学科 放射線技術科学科 理学療法学科 作業療法学科			書類審査・小論文・面接・共通テスト
岩手大学	理工学部	化学・生命理工学科 物理・材料理工学科 システム創生工学科	9月1日（金） ～9月6日（水）	10月6日（金） 10月7日（土）	書類審査・プレゼンテーション・面接・共通テスト
	農学部	植物生命化学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境科			書類審査・面接・共通テスト
岩手県立大学	社会福祉学部	社会福祉学科 人間福祉学科	< 1次 > 9月1日（金） ～9月5日（火） < 2次 > 9月29日（金） ～10月2日（月）	10月14日（土） 10月15日（日）	1次＝書類審査 2次＝講義理解力試験・面接
	総合政策学部	総合政策学科			1次＝書類審査 2次＝面接
	ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科			

入試問題にチャレンジ！

■小論文

- ・弘前大学 人文社会科学部 社会経営課程（2023年度入試）
「グループで議論をする際に初めに意見を出す場合もあれば、議論が進んでから意見を出す場合もあります。これらの良い点と悪い点を挙げながら、良い議論にするための参加の仕方について、あなたの意見を述べなさい。」（800字/90分）
- ・弘前大学 農学生命科学部 食料資源学科
文章や表を読んで答える問題（著作権の関係上、掲載省略）
問題例：表2及び表3は、何を目的とした実験であり、何が分かったか、何が期待できるかについて、説明しなさい。
本文中のような栽培方法がもたらす利点も含め、300字以内で説明すること。
- ・青森公立大学 経営経済学部（2023年度入試）
地方自治体の所有する公共施設に関する課題文 と複数の図表（歳入出の推移及び人口の推移など）を提示し、それらの図表を用いて、課題1～3について論述する。（課題1， 2…250字以内、課題3…200字以内）

■講義及びレポート

- ・弘前大学 理工学部 地球環境防災学科
「講義のテーマ」地層のはなし
講義の概要：地層とは
・地層の基本法則 / 地層の年代 / 地層中の地球環境の「化石」

